

カンボジアの最新経済事情

カンボジア日本人材開発センター (CJCC)
カンボジア日本ビジネス投資協会 (CJBI)

2022年11月

1. カンボジアの概要と経済状況
2. 日本企業の進出状況
3. 現在のカンボジア



1. カンボジアの概要と経済状況

アセアンの中心に位置し、南部経済回廊を通して隣国との接続性が向上し、戦略的価値が上昇

国名: カンボジア王国 (Kingdom of Cambodia)

国土面積: 181,035 km² (日本の約40%) ベトナムとタイに挟まれたアセアン中心部に立地。南部経済回廊を通してアセアン各国に接続

人口: 16.9百万人 (世界銀行:2021年)

首都: プノンペン

1人当たりGDP: 1,587 USD (2021)

民族構成: クメール人 95.4% チャム人, 中国人, その他がそれぞれ 2.4%、1.5%、0.7%を占める

言語: クメール語 (公用語) 95.8%

宗教: 仏教徒 97.1%, イスラム教徒 2.0%, キリスト教徒 0.3%

政体: 立憲君主制

元首: ノロドム・シハモニ国王 (2004年10月即位)



コロナ禍の影響はあるものの、近年は毎年7%の経済成長率を実現。
 外国直接投資はGDP比率で12%前後を維持しており、経済成長を牽引

年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年(予想)
国内総生産 (名目GDP:百万ドル)	24,570	27,090	25,870	26,961	28,174
1人当たり国内総生産 (ドル)	1,506	1,638	1,552	1,587	1,735
実質GDP成長率(%)	7.5	7.1	-3.1	3.0	4.5
財、サービスの輸出 (名目値:%)	12.3	8.5	2.1	24.2	24.9
財・サービスの輸入 (名目値:%)	9.3	17.4	5.7	49.4	8.5
外国直接投資 (ネット、対GDP比率)	12.6	13.2	13.5	12.6	11.6

(出典:世界銀行)

1. 第一次産業(農業)

- 2019年はマイナス成長だったもののコロナ禍でも若干の成長。失業者の受け皿としてカンボジア経済の下支えをしている可能性あり。

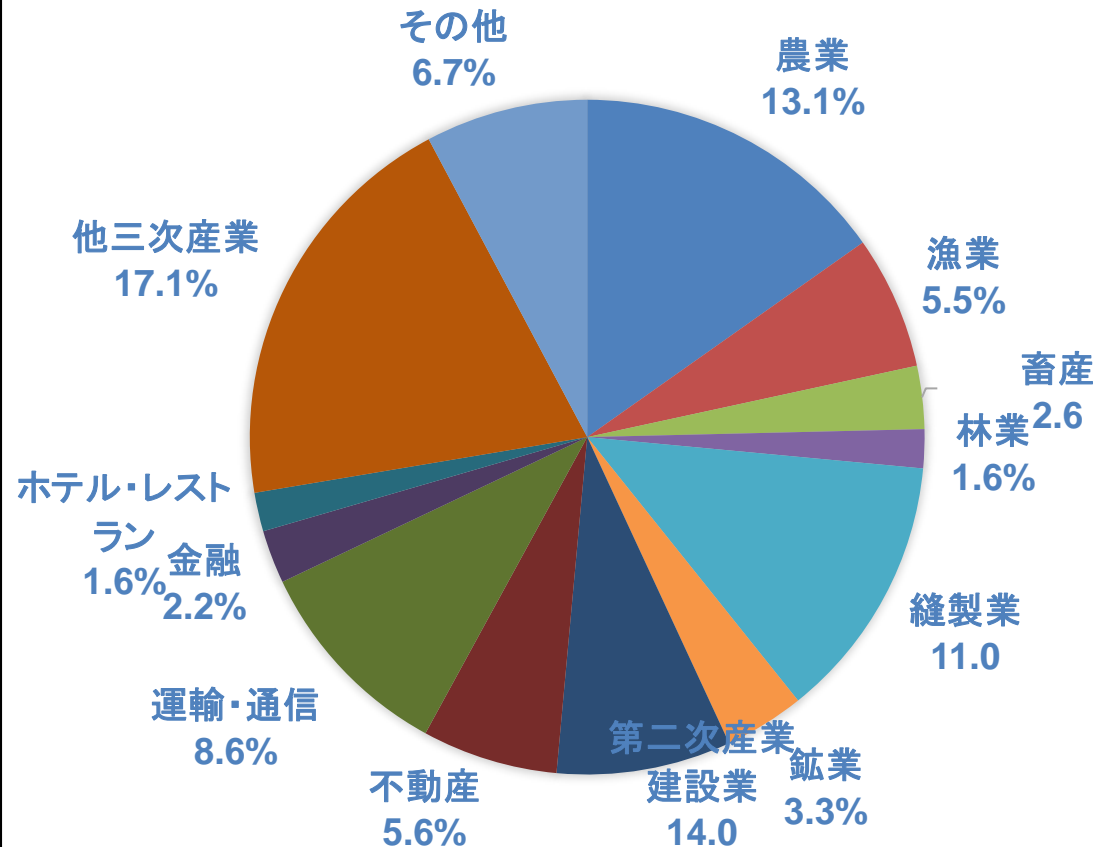
2. 第二次産業(製造業)

- 欧米での需要の落ち込みの影響を受けて400ほどの縫製工場が操業停止となり、15万人の労働者に影響。ただし、製造業(輸出産業)は現在は回復基調にあり。

3. 第三次産業(サービス業)

- 海外からの観光客が激減し、観光セクターは深刻な影響を受ける。2019年のレベルまで戻るのは2025年頃と考えられる。

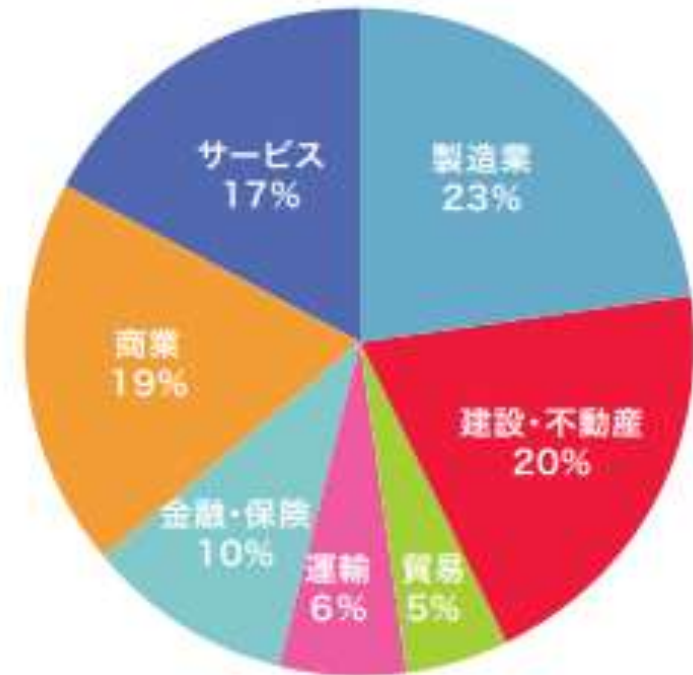
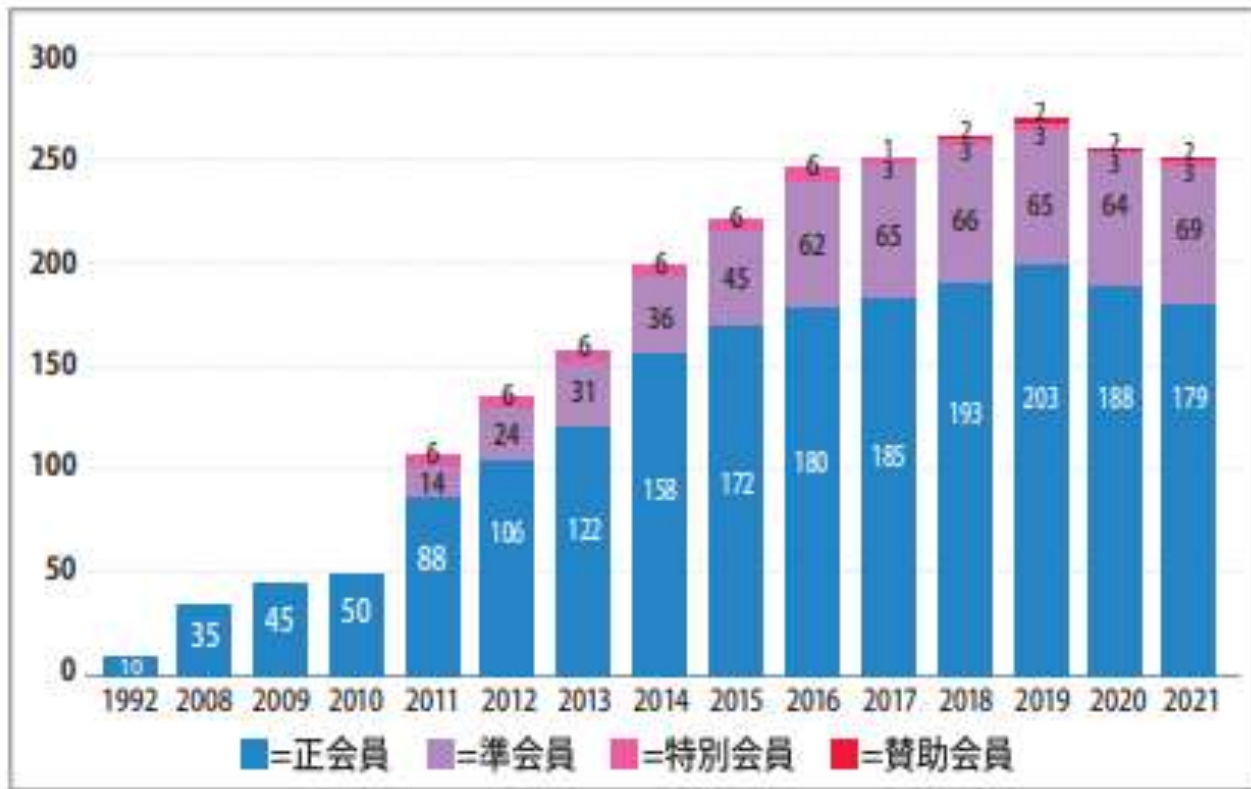
産業別GDP構成比(2021年)



(出典:カンボジア計画省)

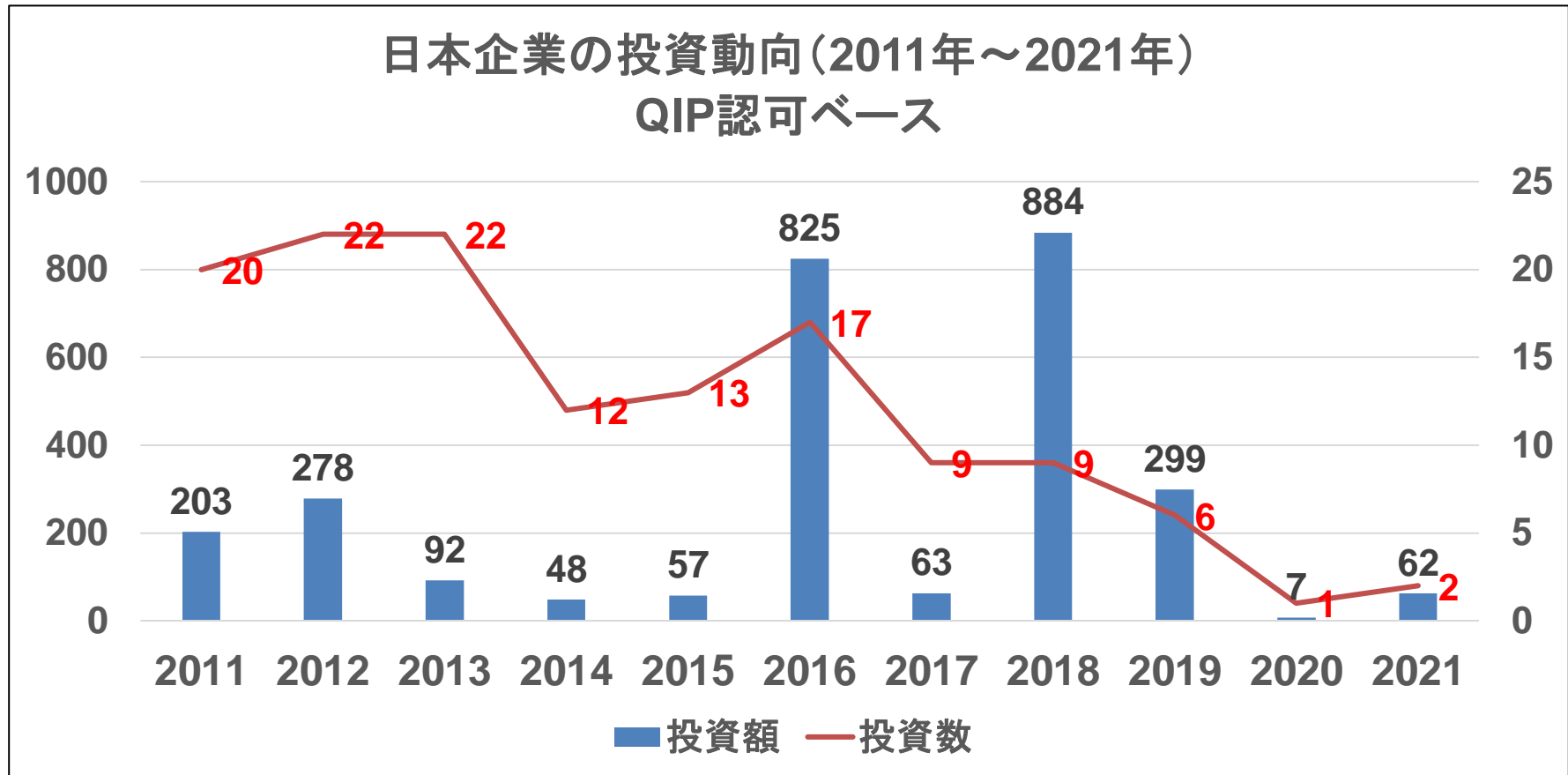
2. 日本企業の進出状況

カンボジア日本人商工会 (JBAC) の会員数は、過去10年で5倍前後に増加。製造業、建設不動産、サービス業、金融業など多様な業種がカンボジアに進出



(出典:カンボジア日本人商工会イヤーブック 2021)

日本企業のカンボジアへの投資は大型プロジェクトも含めて年間5-20件ほどで推移。コロナ禍における投資は減少傾向にあったが現在は回復基調にあり。



(出典:カンボジア開発評議会)

1. 自動車産業を中心としたグローバルサプライチェーンに参画する企業
(自動車やバイクの部品の製造)
2. 労働集約型産業の企業
(縫製、手袋、ぬいぐるみ等の製造)
3. 拡大するカンボジアの中間層を狙ったビジネスを展開する企業
(ショッピングモール、スーパー、日本料理店、医療関係ビジネス)
4. カンボジアのスタートアップ企業と連携したいと考える日本企業
(アクセラレータープログラムやスマートシティに関する取り組み)
5. SDGsビジネスを実施する日本企業
(JICAによる中小企業・SDGsビジネス支援事業の取り組み)

3. 現在のカンボジア

1. 新投資法

- 2021年10月施行の新投資法では農業、農産業、農産加工業、食品加工業を含む18業種における投資活動を投資優遇措置の対象と明記。
- 新投資法の閣僚会議令 (Sub-decree) は2022年内に発表予定。

2. 食品安全法の施行

- 2022年6月に消費者保護を目的に、食品検査の実施、品質表示ラベルによる情報提供、トレーサビリティの確保等について明示。
- 今後は運用細則が制定される予定。

3. 農業および食品加工業に関する投資促進窓口の開設

- 2022年7月にカンボジア開発評議会 (CDC) は同国への農業・食品加工業への投資促進を目的としたアグリフード投資促進窓口 (AFID)をオーストラリア外務貿易省 (DFAT) の支援を受けて開設。

4. 農業のためのオープン・デジタルプラットフォームの設立

- 経済財政省傘下のデジタルに関するスタートアップ支援機関であるTecho Startup Centerは農業に関するデータをデジタル化し、すべてのプロセスの効率化を目指すべく、Khmer Agriculture Suite Platform (KAS)を設立。

産業の多様化の進展? - 自動車組立工場の設立が相次ぐ カーボンニュートラルの達成に向けて三輪車にも電動化の動き

1. 計画が発表された自動車組立事業

企業名	事業内容	取り扱う自動車	発表時期
HGB Motors Assembly Co., Ltd	BMW、マツダ等の自動車を輸入販売	起亜	2021年9月
RMA Automobile (Cambodia) Co., Ltd	ジャガーなどの自動車を輸入販売	フォード	2021年9月
K(Cambodia) Co., Ltd	いすゞの自動車を輸入販売	いすゞ	2022年1月
豊田通商株式会社	トヨタグループの総合商社	トヨタ	2022年11月

(出典:クメールタイムズ紙、プノンペンポスト紙、RMAグループホームページ、豊田通商株式会社ホームページ、JETROホームページ)

2. 電動化が進む三輪車(Tuk Tuk)

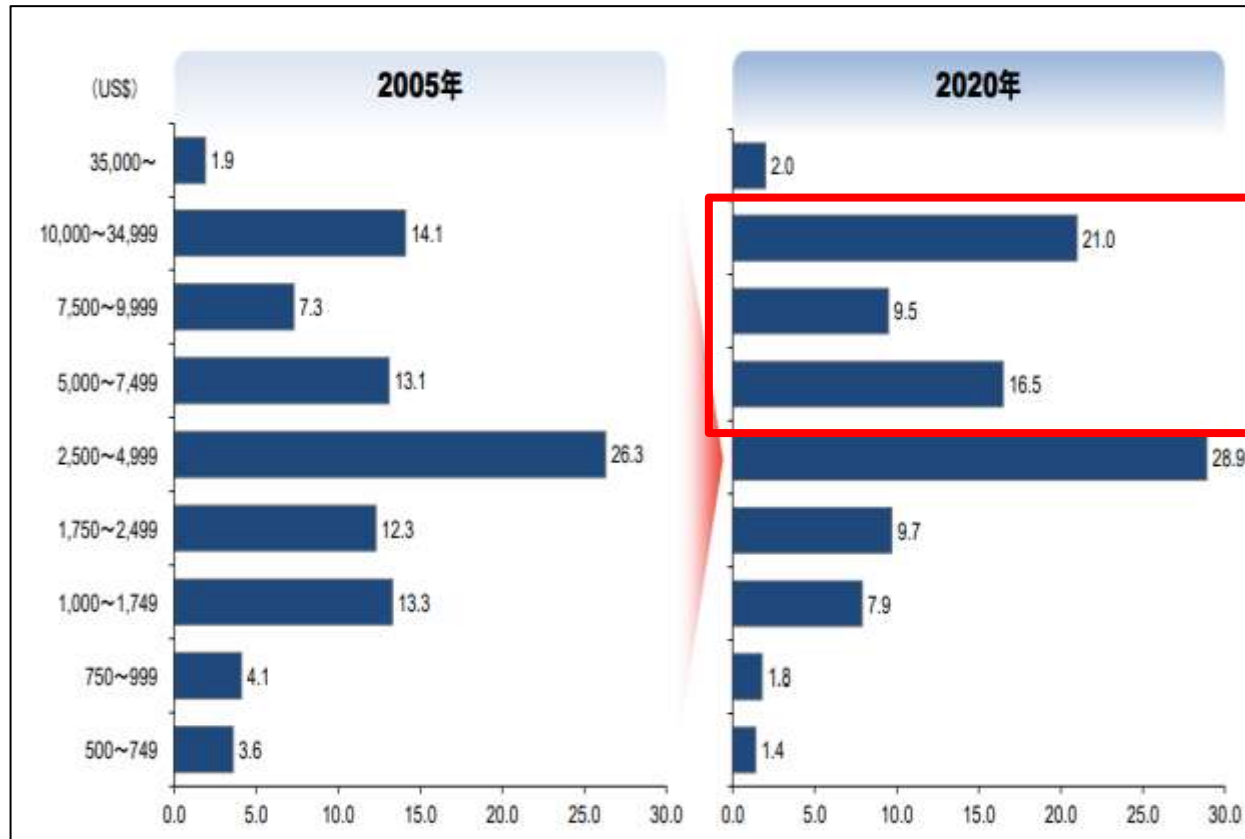
- 韓国系シンガポール企業の子会社、Onion Mobilityは2021年2月、カンダール州の経済特区において電動バイクと電動三輪車の組立工場の建設を開始。
- 配車アプリであるTADAを通して利用可能。



Onion Mobility社が製造する電動3輪車

都市部を中心に過去15年間で家計所得5,000～34,000ドルの中間層が著しく増加し、プノンペンを中心にこれら中間層をターゲットにしたビジネスが進出

カンボジアにおける家計所得の推移



プノンペンを中心にショッピングモール等の商業施設が増加中



カンボジアの集合住宅 (Borey: ボレイ)

(出典: 医療国際展開カントリーレポート カンボジア編: 経済産業省)

コロナに関する基本統計(11月24日現在)

- コロナ陽性者数: 138,039人
- コロナ感染症による死者累計: 3,056名
- ワクチン接種率: 87.22%

コロナに関する様々な施策

- マスク着用及びソーシャルディスタンス確保義務
- プンペン等でのロックダウン
- ワクチン接種カードの提示義務
- QRコードによる新型コロナウイルス: 接触確認システム (Stop Covid) の導入

カンボジアへの入国について

- 2022年10月3日、カンボジア保健省は、同日以降はカンボジア入国時のワクチン接種証明書やワクチンカードの提示は不要
- 事実上、カンボジア入国時の水際防疫措置は事実上全て撤廃

(出典: 世界保健機関(WHO)、在カンボジア日本国大使館ホームページ)



ワクチン接種カード



Stop Covid

ご清聴ありがとうございました